

## トムス ハイパーブレーキキット リヤ

このたびは、トムスハイパーブレーキキット リヤ（以下ブレーキキットリヤ）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取付けを以下に記します。正しい取付けをお願いいたします。本取付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。

**【適応車種】** 本製品は以下の車種に対応しています。（2008年2月現在）

トヨタ エスティマ（GSR50・55W） 2006（H18）年1月～

**【取付上のご注意】** 以下のご注意を必ず守るようお願いいたします。



1. 本製品はフロントブレーキシステムが、トムスハイパーブレーキキットまたは、それと同等以上のブレーキシステム（例；スーブラ17インチブレーキキャリパー・ローターなどのローター直径323mm以上のローターを使用しているブレーキシステムなど）との同時装着を前提として販売しています。標準のフロントブレーキとの組み合わせは前後のバランスが合わないため運転には十分ご注意ください。



2. 本製品装着の際、ブレーキフルードエア抜き作業をする必要がありますが、正しいエア抜き作業をしない場合、制動力が不足し障害や事故につながる場合があります。エア抜き作業は確実に行ってください。
3. 脱着部品の締め付けは、必ず規定トルクで締め付けてください。ボルトのゆるみなどは重大事故の原因となります。
4. 車両をジャッキアップ後は、必ずリジットラック等にて確実に車両を固定してください。
5. 取付け後走行した後に、ボルトの緩みや、ボディとの干渉をチェックしてください。ボルトのゆるみなどは重大事故の原因となります。
6. 走行前の始業点検時にブレーキパッドの摩耗量を必ずチェックしてください。通常のブレーキシステムに比べ、パッドの摩耗時期が早い場合があります。
7. パッドの温度が冷えている走行開始直後は制動力が不足する場合があります。
8. 本製品を装着した場合、「キーキー」もしくは「グググ」という音が発生したり、ブレーキダストが増加する場合があります。性能向上のためご了承ください。

**【構成部品】** 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい。

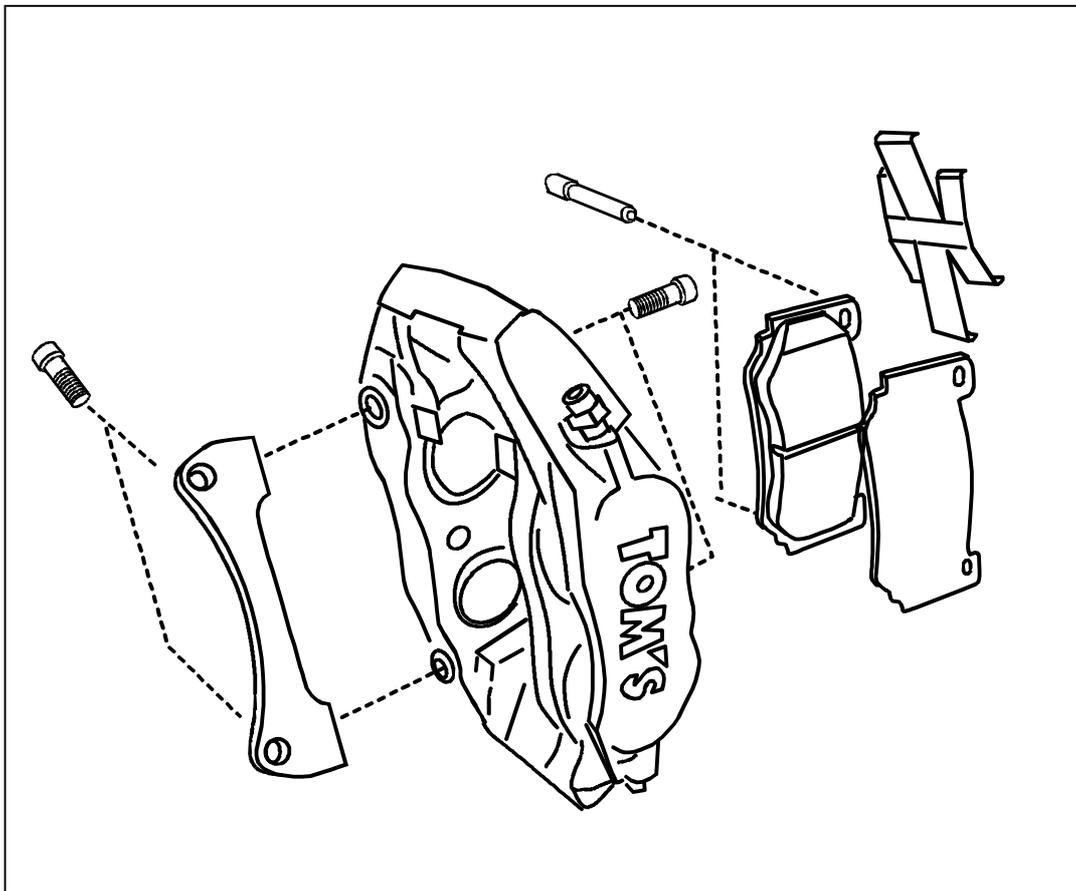
|                   |    |             |     |
|-------------------|----|-------------|-----|
| リヤキャリパーASSY（R/L）  | 各1 | ブレーキパッドリヤ   | ×4  |
| キャリパーブラケット（R/L共通） | ×2 | アンチラトルピン    | ×4  |
| M12ボルト（ブラケット用）    | ×4 | アンチラトルスプリング | ×2  |
| M10ボルト（キャリパー用）    | ×4 | ゴムシール       | ×10 |

**【準備品】** 作業前に以下のものを準備してください。

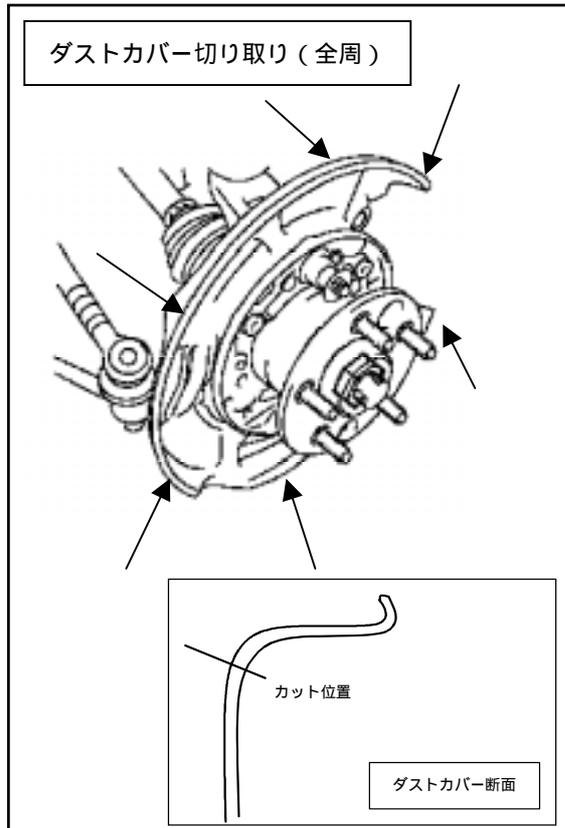
|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| リヤローター（トヨタ品番42431-14150）            | ×2 |
| リヤフレキシブルホースガasket（トヨタ品番47389-50020） | ×4 |
| ブレーキフルード                            | 適量 |

**【構成部品図・組み付け図】**

ローター部・純正部品除く。 ゴムシール除く。ブレーキホースは純正品再使用

**【取り付け方法】**

- 1 純正ブレーキホースおよびリヤキャリパーはずし
  - (1) ブレーキフルード抜き取り
  - (2) ユニオンボルトおよびガスケットをはずし、フレキシブルホースをディスクブレーキシリンダリヤASSY（キャリパー）から切り離す（ガスケットは再使用しない）
  - (3) ボディ側のクリップ、ユニオンをはずし、フレキシブルホースをはずす（再使用する）
  - (4) ボルト2本をはずし、キャリパーおよびシリンダマウンティングを一緒にははずす

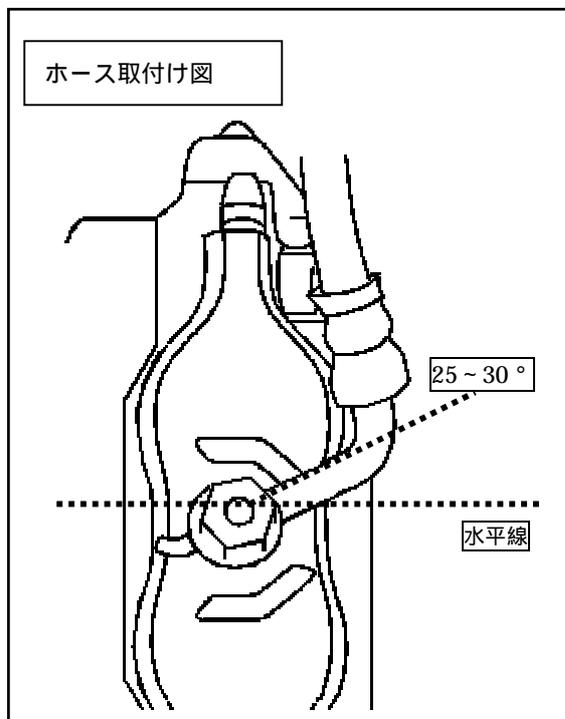


## 2 ダストカバー加工

- (1) リヤローターをはずす
- (2) キャリパー装着時の干渉部分とダストカバーのミミ部分を全周にわたって切り取る (左図参照)
  - 金切りバサミなどを使用するとよい
  - ミミのR始まり部分から切り取る
    - ⇒ 切り粉がブレーキパイプや、センターブレーキ部分にかからないようにマスキングを行った上で、作業する
    - ⇒ 防護めがねなどを使用し、安全に十分留意すること
- (3) カットした箇所はバリを除去し、タッチアップなどで防錆処理をする
- (4) 準備品 ローターを仮当てし、ダストカバーと干渉しないか確認する
  - ⇒ ローターとダストカバーは5mm以上隙間を確保する
- (5) ローター中央部のハブボルト穴以外の捨て穴 (左右各5ヶ所) に ゴムシールを貼る

## 3 トムスブレーキキット取付け (構成部品図・組み付け図を参照のこと)

- (1) 準備品 ローターを取付ける
  - ⇒ RH/LHは共通
- (2) キャリパーブラケットを M12 ボルトでアクスルに取付ける
  - ⇒ ブラケットに上下はない
  - ⇒ 締付トルク 88N.m(900Kgf.cm)
- (3) キャリパーを M10 ボルトで取り付ける
  - ⇒ 締付トルク 70N.m(710Kgf.cm)
- (4) アンチラトルピンで パッドと アンチラトルスプリングを取付ける
  - ⇒ ピンは確実に挿入すること (ピンポンチなどでたたき、確実に入っていることを確認する) ピンがはずれた場合、重大事故につながる場合があるので確実に挿入する
  - ⇒ スプリングは矢印マークをローター前進回転方向と同じにする
- (5) 準備品 ホースガスケットを使用し、純正フレキシブルホースを取付ける。ホースはLH/RHを入れ替えて使用し、キャリパー側は標準の取付け面と逆向きで取付ける
  - ⇒ ホース位置は水平より25~30°で固定する (左図参照)
- (6) ブレーキエア抜き作業をする
  - ⇒ エア抜き作業の詳細は該当車両修理書を参照のこと



【発売元】株式会社 トムス  
東京都世田谷区等々力6-13-10  
TEL 03-3704-6191